

令和8年1月21日

県政記者クラブ 各位

保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起についてご協力をお願いします。

記

1 発症状況等について

中部保健所管内の障がい者支援施設(利用者42名、職員40名)

- (1) 1月13日(火)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の利用者が下痢・嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月8日(木)から1月15日(木)にかけて、利用者及び職員に下痢・嘔吐等の症状があつたことを確認。
- (3) 有症者はいずれも回復傾向にある。

【有症者の性別等】(単位:人)

区分	利用者	職員	合計
男	11	3	14
女	8	2	10
計	19	5	24

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和7年4月1日～令和8年1月21日	25	1	28	54
令和6年4月1日～令和7年1月21日	19 (59)	0 (1)	16 (35)	35 (95)
令和5年4月1日～令和6年1月21日	20 (42)	0 (0)	15 (43)	35 (85)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 松館・松村 019-629-5417】